
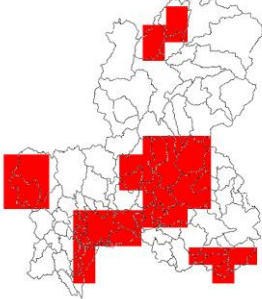


イヌノフグリ	<i>Veronica polita</i> Fr. var. <i>lilacina</i> (T.Yamaz.) T.Yamaz.	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ゴマノハグサ科
選定理由	既知の生育地で生育の条件が明らかに悪化しており、個体数が大幅に減少している。	写真(大塚英樹)
形態の特徴	茎は下部で分枝して地に広がり、長さ10-25cmになる。葉は茎の下部では対生、上部では互生し、卵円形である。花期は3-4月。茎の上部の葉腋ごとに、淡紅白色で紅紫色の条のある、径3-4mmの花を1個ずつつける。	
生態的特徴	土手や道端などの草地に生える。	
分布状況	本州、四国、九州、琉球、東アジアの温帯～暖帯に広く分布する。県内では県南のかなり広い地域及び県北の北部に生育する。	
減少要因	本種の分布域は県南のかなり広い地域及び県北の北部にわたっているが、もともと生育個体数は少ない。また、その再生産能力を上回る採取圧に曝されている。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅲ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良